

れんごう中越地協

第879号2015.12.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



第20回中越高齢協セミナー

マイナンバーなど2テーマの講演を聴講

長岡市から講師を招き、連合中越地協と共催で有意義な企画

中越高齢協は11月25日(水)13時30分から高齢者センターけさじろにおいて「第20回中越高齢協セミナー」を54名の参加で開催した。

下田会長と、連合中越小林事務局長の共催挨拶に引き続き、『マイナンバー制度について』長岡市役所行政管

理課係長の殖栗正氏から、マイナンバー制度の概要について講演があった。

主な内容として11月中には全世帯に通知カードが届き、来年1月から利用開始となること。社会保障関係の給付手続や申請、税務関係の確定申告や市・県民税の申告の際に、12桁のマイナンバーの記載が必要となること。個人番号カードを申請することである程度のメリットが得られること。講師からは、『マイナンバーは生涯にわたって使うものであり、紛失しないよう



保管してください。また、最近マイナンバーに関する詐欺事件が多発しているため、不審な電話があったら自治体等に問い合わせるなど十分注意してほしい」との話があった。

休憩後『長岡農業と長岡野菜について』長岡市役所農政課主任の稲川美沙子氏の講演を受けた。一部を紹介すると次のようになる。

柿川に親しむ会 第3回実行委員会で今年度事業を評価する

柿川に親しむ会は、第3回実行委員会を12月1日(火)午後6時半よりながおか市民センターで開催した。

この実行委員会は、10月3日(土)に行つた「第19回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い」の実施結果を評価し、明年20回目の取り組みに向けて意見交換することが主な議題となった。

南代表は開催にあたり「20回目に向けて意見を申し合せて欲しい」と述べ、節目の年に向けた検討がスタートした。

委員会では、実施結果を検証し、「各コープの引率責任者とタイムキーパーの任務と配置人員」「戦災資料館での聴講形式」「おにぎりとお茶の提供」等について意見交換した。

その結果、戦災資料館の協力により、2組ずつの入れ替え制でなく全員一緒に空襲体験を聴くことができようになったこと。快晴という天候にも恵まれたこと。ゴミも例年同様に少なかったこと。トン汁の提供がふさわしいか否か検討することが共有され、トータルとして良かったとまとめられた。



また、次年度への志向として、「桜の樹」等の植樹や柿川の源流はどこかなど話題にされたが、柿川とその周辺に関する歴史や史跡に視点をあて、郷土史研究会の方に協力を仰ぎ、春に向けて検討を重ねることとした。

重要課題は組織拡大であり、働く人の4割である非正規の方々への対応が重要」と触れられた。会議では、委員の承認、各構成組織や地域協議会の取組み課題、産別の現状等について意見交換が図られた。また、実効が上がるよう課題に応じた小委員会を設置していくこと等が確認された。

長岡の農業従事者の約四分の一が65歳以上の高齢者となっているのが現状です。もっと消費者の皆さんから新鮮な地元野菜を食べてもらおうことによつて、農家の皆さんを支えることになり、消費者が求めるものを生産していこうという励みになります。そのため平成10年から長岡の野菜を守るため、長岡野菜ブランド協会に

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が、第2四半期運用状況(7月-9月)を30日公表した。それによると、約7兆9億円の運用損失とし、世界的な株価下落の影響だといふ▼GPIFは、厚生年金と国民年金の積立金を運用している。その運用にあたっては法で「専ら厚生年金保険の被保険者の利益のために、長期的な観点から、安全かつ効率的に行なう」として公表においてGPIFは「年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断する必要がある」と、あ

も短期は評価にしないといふも言いにくいものがある▼因みに08年リーマンショック(10月-12月)時は、5兆7千億円の運用損失だから、昨10月末に、国内債券割合を少なくし、国内株式と外国株式割合を多くした資産構成割合(基本ポートフォリオ)変更が招いた結果ではないか▼連合は、この変更に対して「年金積立金の安全な運用を求める意見書採択の請願書」を地方議会に提出してきたが、多くは、保守系議員が制度維持には収益活用が必要だとし不採択であった。ギャング化でいいのか。

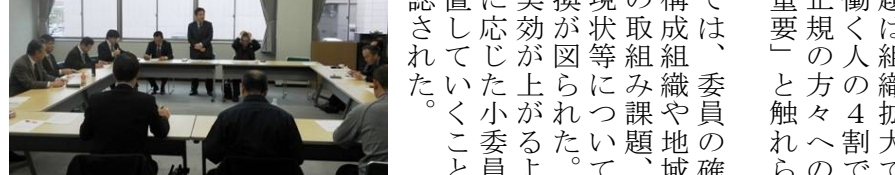
事務局長 小林 守
東蔵王2 No.199

第1回組織対策委員会 重要課題は組織拡大

連合新潟第1回組織対策委員会が、12月3日(火)午前10時30分から開かれた。年度当初という事もあり、齋藤会長から「16万組織をめざし、実態を把握し組織拡大を継続していく」必要性が述べられた。続いて、山坂組織対策委員長(副会長)からも「最

重要課題は組織拡大であり、働く人の4割である非正規の方々への対応が重要」と触れられた。会議では、委員の承認、各構成組織や地域協議会の取組み課題、産別の現状等について意見交換が図られた。また、実効が上がるよう課題に応じた小委員会を設置していくこと等が確認された。

また、山坂組織対策委員長(副会長)からも「最



サラリーマン川柳(有給を 取れば取るほど 忙しく) (単身の 身にしむ鍋の あたたかさ) (忘年会 あなたの事も 忘れない) (昼食は 低カロリーより 低コスト)